

手法、およびカナダ国際開発庁 (CIDA) の LFA 手法などが参照された。PCM 手法で用いられるログフレームとは、あるプロジェクトを実施する際に、プロジェクトの上位目標、プロジェクトの目標、アウトプット、活動、投入、目標の達成度合いを測る指標、指標データの入手手段、目標達成に必要な外部条件、プロジェクトを開始するために必要な前提条件を 4 行 4 列のマトリックスに表した事業概要表 (ロジカル・フレームワーク) の通称である。

PCM 手法は、参加型計画手法とモニタリング・評価手法 (M&E) の 2 つの手法から構成されており、この 2 つの手法は PCM 手法におけるログフレームである PDM (Project Design Matrix) によって連結される。なお、参加型計画手法には、以下の 6 つのステップがある。

1. 関係者分析：「どのような人々や組織が関係してくるのか?」、「誰の問題を解決するのか?」の特定
2. 問題分析：問題の因果関係を階層化する作業
3. 目的分析：問題分析で明らかとなった因果関係を「手段-目的」の関係に変え、問題が解決された望ましい状態とそれを導くための手段について確認する
4. プロジェクトの選択：問題解決のためのプロジェクト候補を選択する
5. ログフレームの策定：プロジェクトの骨子を示す

6. 活動計画表の策定：プロジェクト実施に必要な要素を書き込む

今回のワークショップのモデレーターを担当した GLM の担当者は、PCM 手法開発チームのメンバーとして、ドイツ・カナダの手法を研究・改良し、日本の援助機関および関係者への普及を図るため、研修およびワークショップの実施方法を開発した第一人者である。GLM が実施するワークショップの質の高さには定評があり、国際協力機構 (JICA) のみならず、国際協力銀行でも研修ワークショップを実施している。

C. 結果

1 日目の「問題分析」では、中心問題として「自殺が多い」という問題を選択し、この中心問題を引き起こす直接の原因として「自殺希望者が増加している」と「ハイリスク者が助けられていない (助けていない)」という 2 つの問題が挙げられた。この 2 つの問題を引き起こす原因をさらに細分化し分析していくため、参加者を 2 つのグループに分け、その後、2 つのグループになって細分化された問題について、さらに 3 つずつのグループ (計 6 グループ) に分かれ、1 日目の段階で「目的分析」の途中までを実施した。

2 日目は、初日からの続きで「目的分析」をさらに精緻化した後、「プロジェクトの選択」、「ログフレームの策定」までを実施し、「希死念慮対策」と「社会基盤整備」の 2 つのプロジェクトを PDM として作成した。

なお、このワークショップの成果物の詳細は別紙の通りである。問題分析の結果作成された問題系図、目的分析の結果作成された目的系図、さらにブレインストーミングの結果完成したPDMを表に示した。

D. 考察

自殺対策は社会全体で取り組むものであり、これまで自殺対策に携わってきた民間団体や個人、行政、研究者等の関係者が一同に会してブレインストーミングを行ったことは、知見を交換してまとめる場になったという点において有意義であり、自殺対策におけるネットワーク構築にも役立つと考えられた。

E. 結論

自殺対策に携わってきた民間団体や個人、行政、研究者等の知見を集約し、自殺対策の行動計画を策定することを目的として、PCM手法を用いたワークショップを実施した。ブレインストーミングを行ったことは、知見を交換してまとめる場になったという点において有意義であり、自殺対策におけるネットワーク構築にも役立つと考えられた。

参考資料

PCM手法については下記ウェブサイトから説明を引用した。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/kk_krk/kyouzai/handbook/html/h20104_2.html

自殺対策ワーキンググループAの1 自殺対策ワーキンググループAの問題系図

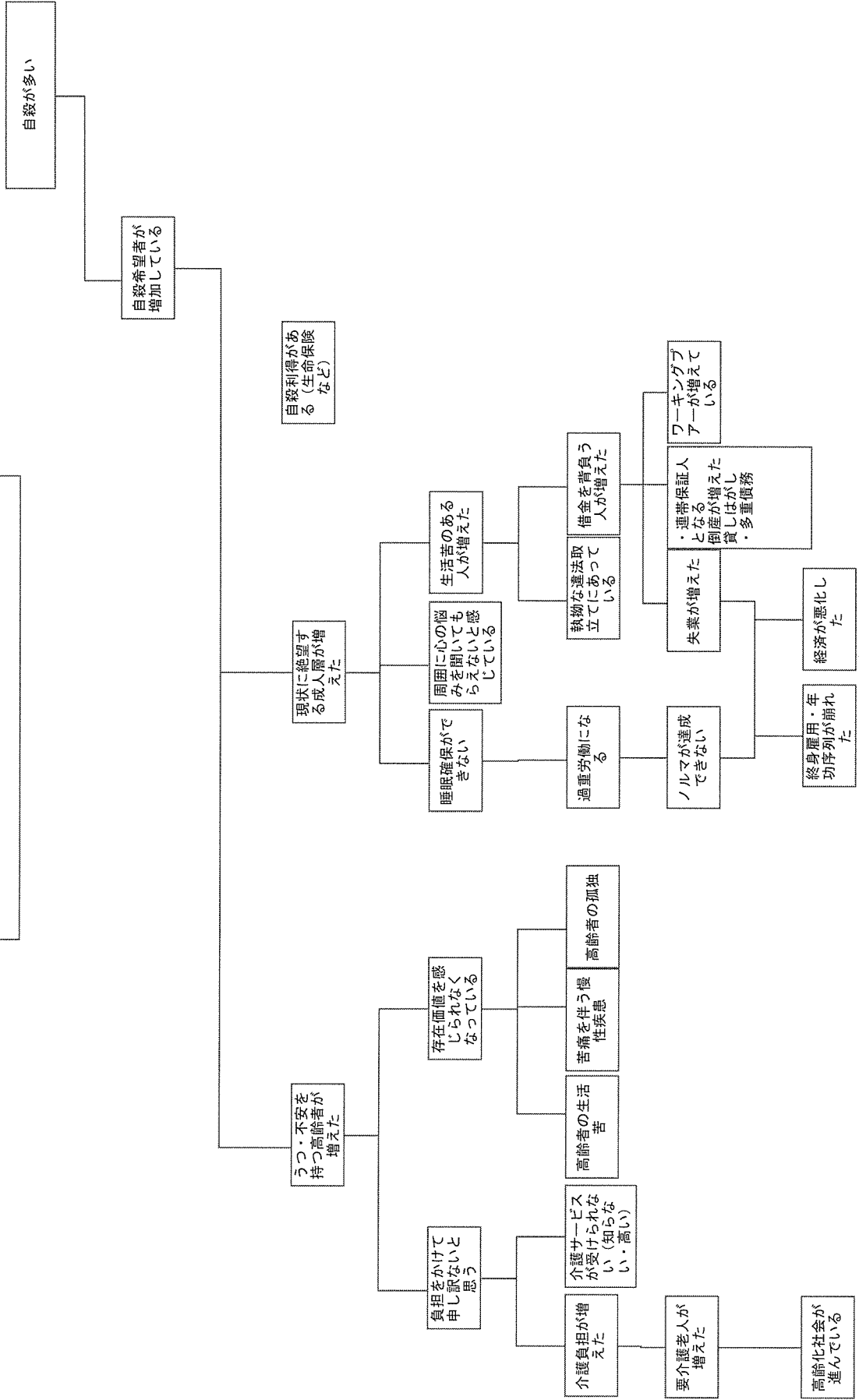


表. 完成したPDM

プロジェクト名:希死念慮対策(グループA)

期間:5年間
ターゲットグループ:

プロジェクトの概要	指標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標 自殺が減る。	自殺死亡者の数が急増以前の水準に戻る。	厚生省人口動態統計 警察省統計	
プロジェクト目標 希死念慮ゼロにする(自殺したいと思う人が減る)。	自殺したいと思う人の数が20%減少する。	総務省生活基礎調査	自殺させない社会基盤が整う。
アウトプット 1 学校におけるいじめの問題が減る。 2 孤立を感じる若年成人が減る。 3 現状に絶望する成人が減る。 4 鬱・不安を持つ高齢者が減る。	1 いじめによる自殺児童の数が半減する。 2 年齢階級別の自殺者および自殺未遂者数を代数とし、20%減少する。	(代替) 文部科学省と学校問題による自殺者数に関する警察庁統計	
活動 1-1 評価・責任が問われない調査システムを作る。 1-2 親の知る権利を認める。 1-3 教職課程に人権教育を盛り込む。 1-4 人事に関する通達を发出する。 1-5 学校がチームとしていじめに対応するための制度を作る支援をする。 1-6 子どもの権利条約を啓発・普及する。 2-1 教育要領に経済(お金)に関する教育の項目を加える。 2-2 金融・資金のガイドライン(法律)作成のために業界を支援する。 2-3 報道・情報のガイドライン作成のためにインターネットやマスコミ業界を支援する。 2-4 支援制度を整備する。 3-1 労災制度を整備する。 3-2 労働環境を整備・改善する。 3-3 ストレスの軽減支援体制を確立する。 3-4 遺帯保証人制度を制限する。 3-5 公的な低利融資制度を充実する。 3-6 社会保険が確立された雇用を増やす。 3-7 社会保険(生活保護)を確保する。 3-8 就労先が確保される。 3-9 女性の職場を含め、社会参画を促進する。 3-10 生涯教育体制を整備する。 4-1 年金制度や高齢者の労働環境を整備する。 4-2 疾病予防のガイドラインを作成する。 4-3 地方自治体向けのガイドラインを作成する。 4-4 介護予防に関するガイドラインを作成する。	投入 人材(対策チーム) 政策決定者・政治家(議員) 研究者・専門家 法律家 NPO・市民団体 自死遺族 当事者 宗教家 マスコミ・報道関係者 施策の現場の人 施策の利害関係者(企業関係者等)	予算	地方自治体や現場(学校・企業等)が協力・実施する。 前提条件 関係省庁間が合意する。

プロジェクト名:社会基盤整備(グループB)

期間:5年間
ターゲットグループ:

プロジェクトの概要	指標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標 自殺が減る。	自殺死亡者の数が急増以前の水準に戻る。	厚生省人口動態統計 警察省統計	
プロジェクト目標 自殺させない社会基盤が整う。	サポート施設の認知率 ハイリスク者の満足度の向上 サポーターの満足度	住民アンケート サポート施設でのアンケート	自殺したいと思う人の数がこれ以上増えない。 経済状況が現状よりも悪化しない。
アウトプット 1 地域毎のサポーター体制が強化される。 2 有効な行政施策が実現される。 3 医療サービスがハイリスク者に届く。	1 各県に一箇所以上のサポートセンターが創立されている。 2 各県のサポート施設一覧が公表されている。 3 自殺に特化した行政計画の数 4 ハイリスク者の有病率と受診率	県の広報誌 市町村からの報告 (新)自殺白書	
活動 1-1 民間団体の活動を促進する。 1-2 1次保護施設を創設する。 1-3 悩み相談所を増設する。 1-4 サポーターを養成する。 1-5 悩みの原因に応じた相談窓口を開設する。 2-1 対策本部を設置する。 2-2 法律を整備する。 2-3 民間・行政職員の資質を向上させる。 2-4 研究体制を整える。 2-5 自死遺族情報収集システムを作る。 2-6 プロの人材を育成する。 2-7 一般市民向けの教育・啓発を行う。(自殺防止のための価値観・生き方の見直し) 2-8 自殺の要因を解明する。 2-9 自殺の経済的コストを解明する。 3-1 国民に対する適切な教育啓発を行う。 3-2 医療者への適切な教育を行う。 3-3 マンパワーを充実する。 3-4 予防活動のデータを収集する。 3-5 医療保健資源を充実させる。 3-6 ハイリスク者への対応を保険点数化する。 3-7 アウトリーチ連携体制を整える。	投入 予算 精神医療関連予算 人材		前提条件 国民が合意する。 地方自治体の協力が得られる。

◇自殺対策ワークショップ 参加者リスト◇

NO	氏名	所属
1	粟田 主一	仙台市立病院
2	石藏 文信	大阪大学大学院
3	伊勢田 堯	東京都立多摩総合精神保健福祉センター
4	伊藤 弘人	国立精神・神経センター精神保健研究所
5	宇田 英典	鹿児島県川薩保健所
6	宇都宮 健児	東京市民法律事務所
7	大内 幸恵	国立精神・神経センター精神保健研究所
8	大野 裕	慶應義塾大学
9	影山 隆之	大分県立看護科学大学
10	勝又 陽太郎	国立精神・神経センター精神保健研究所
11	川野 健治	国立精神・神経センター精神保健研究所
12	金 吉晴	国立精神・神経センター精神保健研究所
13	黒木 宣夫	東邦大学佐倉病院
14	黒澤 美枝	岩手県精神保健福祉センター
15	小森 美登里	NPO法人 ジェントル・ハート・プロジェクト
16	齋藤 治	国立精神・神経センター武蔵病院
17	齋藤 友紀雄	いのちの電話
18	佐藤 真由美	国立精神・神経センター武蔵病院
19	佐藤 玲子	横浜市立大学
20	茂 幸雄	NPO法人 心に響く文集・編集局
21	清水 康之	NPO法人 ライフリンク
22	杉本 脩子	NPO法人 生と死を考える会
23	高岡 道雄	尼崎市保健所
24	竹島 正	国立精神・神経センター精神保健研究所
25	田島 美幸	東京大学大学院
26	張 賢徳	帝京大学付属溝口病院
27	中井 亜弓	国立精神・神経センター精神保健研究所
28	中村 真一	神奈川県精神保健福祉センター
29	橋爪 章	国立精神・神経センター
30	樋口輝彦	国立精神・神経センター武蔵病院
31	松岡 豊	国立精神・神経センター精神保健研究所
32	松澤 友子	横浜市立大学
33	松下 幸生	独立行政法人国立病院機構 久里浜アルコール症センター
34	松本 和浩	内閣府大臣官房自殺対策推進準備室
35	松本 智量	延立寺住職
36	本橋 豊	秋田大学医学部
37	八木 宏之	セントラル総合研究所
38	山口 律子	日立キャピタル損害株式会社
39	山田 光彦	国立精神・神経センター精神保健研究所
40	米本 尚裕	国立精神・神経センター精神保健研究所
41	吉田 猫次郎	猫次郎研究所
42	渡辺 恭江	国立精神・神経センター精神保健研究所

(50音順)

IV. 資 料

自殺死亡に関連する要因の解明に関する パイロットスタディ

面接票

調査地域： _____

調査番号： _____

亡くなった方のご家族・知人用

国立精神・神経センター精神保健研究所
東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

2006年10月

I ご本人に関する情報

1. 調査地域(都道府県):	_____
2. ID番号:	_____
3. 本人氏名:	_____
4. 性別	_____
5. 生年月日:	_____年____月____日
6. 連絡先の家族・知人氏名:	_____
7. 家族・知人の連絡先:	_____
TEL	_____
FAX	_____
電子メール	_____

II 死亡診断書等の資料からの情報

1. 本人死亡日:	_____年____月____日
2. 死亡時満年齢:	_____
3. 死亡場所:	_____
4. 直接死因:	_____
5. 原死因:	_____
6. 死亡診断書記載の医師名:	_____
7. 死亡診断書記載の医師の医療機関:	_____

Ⅲ 調査の導入部分

第1回調査日： _____年 _____月 _____日

開始時間： _____時 _____分
(時刻表のように24時間で記入)

注：調査が回のみであれば、次の項目は記入不要。

第2回調査日： _____年 _____月 _____日

開始時間： _____時 _____分
(時刻表のように24時間で記入)

自己紹介と調査の説明

調査員はまず自己紹介をする。次に、調査員は回答者に持参した研究内容の説明書を渡す。以下を参考に、調査の目的、調査の方法、調査内容の守秘について回答者に伝える。

— 日本では1998年以降自殺が増加しており、大きな社会問題として認識されています。毎年少なくとも自殺で3万人の方が亡くなっています。自殺は本人だけでなく、家族はもちろんのこと社会にも大きな影響を与えます。

— 自殺の原因はまだ十分に明らかになっていません。有効な予防対策を講じるため、自殺が起こる理由や背景を理解することが必要だと考えています。

— この問題を明らかにするため、国立精神・神経センター精神保健研究所では、全国で自殺に関連する要因についての調査を計画しています。今回は、今後全国で調査を実施する方法を検討するためのパイロット調査のためにまいりました。

— この調査では、全国10カ所、自殺で亡くなった方のご家族または知人を訪問させていただきます。お亡くなりになった前後の状況や、お亡くなりになった方が生前どんな方だったのかについてうかがっています。亡くなった人からは実際にお話を聞けないので、わからないこともあるかもしれませんが、うかがった内容から自殺をおこさないことに役立つ情報を明らかにし、対策に生かしたいと考えています。また、残されたご遺族のお気持ちやお考えを理解し、ご遺族を支えるために国や地域ができることがいかにどうかを明らかにしたいと考えています。

— 調査は聞き取り調査の形式で行われ、だいたい1時間から2時間かかります。調査内容を詳しくお知らせになりたいようでしたら、ご説明しますので、おっしゃってください。(必要があれば)小冊子の1ページ目を開いて回答者に見せる。
 ◇ 調査は、大きく、自由にお話をさせていただく部分と、こちらから決まった質問をさせていただく部分に分かれています。
 ◇ 自由にお話をさせていただく部分では、お亡くなりになった方が生前どんな方だったのか、またお亡くなりになった前後の状況についてうかがいます。あなた自身のお考えやお気持ちなど、ここでお話いただいてもかまいません。
 ◇ 決まった質問をさせていただく部分では、ここに書いてある項目について1つずつ質問をさせていただきます。

— その後に、ご遺族の方のお気持ちを聴かせたいだけでなく部分も設けております。これまで抱えていられなかったお気持ちや、今日のお話の中で色々と思いついたり、感じたりしたことについて何でもお話し下さい。ただし、話したくないことは無理に話そうとせず、胸の中にそっと大切にしまっておいていただいで結構です。

— お話になった内容については、東京にある国立精神・神経センター精神保健研究所に集められ、集計されます。ご本人やあなたのお名前が外に出ることはありません。お答えになりたくない質問があれば、そしておっしゃってください。その質問とはお返事をしませんが、いつでも撤回することができます。

同意書の取得

説明後、少し間を置き、調査対象者から質問がないか、あるいは調査員に要望がないかを確認する。

「私どもは、この調査の目的をはじめにきちんと説明する義務があり、同意書は我々調査者がこの調査に責任を負っていることを理解していただけたかどうかを確認するために記入していただくものです」

「調査への参加に同意いただけようでしたら、この同意書に必要事項をご記入ください」と依頼する。

「同意書に記入されたからといって、いつでも同意の撤回はできますので、ご安心下さい」

同意書に記入してもらった。記入事項にもれがないかどうか確認する。

遺族向けパンフレットの提供

自殺者の遺族向けパンフレットを渡し、調査中に必要があれば遺族としての気持ちや感情にも対応する用意があることを伝える。

「また、こちらは自殺でご家族や知人を亡くされた方にお記しているパンフレットです。調査が終わった後にご覧いただけばと思います。なお、ご自身のお気持ちを話しなると、精神的に楽になることもあります。質問以外のことで何かあればどうぞお聞かせください。」

引き続き回答者に説明する。

— 調査の間にお疲れになったら休憩をとることができます。

— _____ではこれから質問させていただきます。まず、ご本人に関して、〇〇さん(回答者の名前を入れる)がご存知のことやうかがいたいたいと思います。なお、筆記での記録の速度は、お話の速度に追いつきませんので、話し合いの一部を録音させていただいてもよろしいでしょうか(許可が得られれば録音する)。

調査員は録音開始前に次の内容を先に録音する。調査番号、録音日、調査対象者とご本人との関係、調査員氏名。以下の質問を開始する。

まずあなた(回答者)ご自身について教えてください。

1. お名前を教えてください。
2. (調査員：性別を質問せずに記録) (1=男性 2=女性) _____ 歳
3. おいくつですか。
4. 生年月日はいつですか。 _____年 _____月 _____日
5. あなたとご本人とのご関係は？
ご本人との関係のコードに○をつける。(もしも調査対象者が友人であり、そのうえ同様、上司であれば、友人を選択する。即ち、ご本人と最も近い関係を選択する)

- | | | | | |
|-------|--------|-----------|----------|------------------|
| 10=父親 | 15=妹 | 20=配偶者の父母 | 25=上司・先輩 | 30=警察 |
| 11=母親 | 16=息子 | 21=その他の親族 | 26=部下・後輩 | 31=メールやネット上の知り合い |
| 12=兄 | 17=娘 | 22=恋人 | 27=教師 | 32=その他(_____) |
| 13=姉 | 18=配偶者 | 23=友人 | 28=隣人 | |
| 14=弟 | 19=祖父母 | 24=同僚・同級生 | 29=医療従事者 | |

IV 自由な話し合いでの質問事項

自由な話し合いの記録用

(ご本人の亡くなる前の様子の様子を簡単に要約を作成してください。)

あらためて今日は調査をお引き受けいただきありがとうございます。これから色々とお話をうかがっていきたく思いますが、事前にお知らせしたように今日はお亡くなりになった方が生前どんな方だったのかをばじめるにうかがって、その後少し詳しくお亡くなりになった前後の状況について聞かせていただきたいと思います。(回答者の気持ちをほぐすために、まずは最近のご家族の様子などを聞くことから始めることもよい。)

ご本人がお亡くなりになってから、時間が少し経ちましたが、いかが過ごされていますか？
あなたのお気持ちや生活は、少しは落ち着きましたか？

(次の1~7の事柄について、必ずしもこの通りに聞く必要はないが、たずねておくこのあとの半構造化面接が円滑に進められる。)

1. 死亡の経過について
ご本人の亡くなった経過についてご存知のことをお聞かせいただけますか？
(注)可能であれば、遺書の有無などを聞く
2. 行動、態度、精神的な変化について
亡くなる前の様子に変わったところはありませんでしたか？
当時、ご本人の精神状態には何か変化がみられましたか？
3. 家族との関係について
亡くなる前の6カ月間、ご家族の状況はどうでしたか？
家族同士のご関係はどうでしたか？
ご本人とご家族とはお互いに打ち解けて語られましたか？
当時、ご本人は家庭生活に満足されていましたか？
4. 親子、兄弟や親族との関係について
亡くなる前の6カ月間、ご本人と家族・親戚との関係はどうでしたか？
ご本人は家族や親族と打ち解けて語そうとしましたか？
ご本人は困った時、家族や親族に助けを求めようと思いましたか？
家族や親族による助けに満足していましたか？
亡くなる前の6カ月間、ご本人と家族や親戚との関係に変化はなかったですか？
5. 交友関係について
亡くなる前の6カ月間、ご本人はお友達とよく交流していましたか？
ご本人は友人と打ち解けて語そうとしましたか？
困った時、ご本人は友人に助けを求めましたか？
亡くなる前の6カ月間、ご本人と友人との関係に変化はなかったですか？
6. 仕事上の関係について
亡くなる以前6カ月間、ご本人は仕事をされていましたか。お仕事の様子はどうでしたか？
上司、同僚、隣人との関係はどうでしたか？
ご本人は仕事に満足していましたか？
7. 家族以外で、特に相談者がいたかどうか
亡くなる以前、ご本人がどなたかに相談していたかどうか、ご存知ですか？

自由な聞き取りは40分以内を終える。終わったら、決まった質問をずらす部分にうつる。
回答者があまり話さない場合は、「XVII. ご遺族のお気持ち」セッションを先に実施してもよい。ご本人の様子がつかえなかったり、あまり話したくないようであれば、調査を継続してもよいかどうかもう一度確かめる。
回答者の負担が大きいようなら面接を2回に分けて実施してもよい。

V 死亡の状況

(調査員は、半構造化面接のはじまりについて説明をする)

ありがとうございます。では次に、私たちの方からいくつか質問をさせていただきます。調査の性格上、事前に決められた通りにお話をうかがうようになっています。このため、すでにお話をうかがった点を再度ご質問することになったり、あるいは似たような質問を繰り返すこともあるかもしれませんが、どうぞご容赦ください。(必要なら小冊子1ページの「聞き取り調査の項目」を示す。「これからはこのような内容について順番にうかがってまいります。」と説明する)

最初に、ご本人が亡くなった時のご様子について、いくつか確認させていただきたいと思えます。もしお答えになりたくなくあったり、お答えになるのがお辛いようでしたら、その質問はとばしますので、遠慮なくそうおっしゃってください。

(調査員：質問1から8では、自殺の場所と手段、時間的経過について聞き取る。すでに「自由な話し合い」で情報が得られているなら、質問せずに記入するか、あるいは不明な場合だけ補足の質問をして確認するだけとする。

もし、死亡時の状況や手段について「自由な話し合い」でふれられなければ、次のようにたずねる。「もし差し支えなければ、ご本人の亡くなった状況についてもう少し詳しく教えていただけますか。」その後、少し時間をとって回答者が自由に話す範囲で状況を把握する。回答者によってはご本人の死亡状況を思い出すことが気持ちの負担になることもあるので、注意して質問を進めること。)

<p>1. ご本人が自殺を図られた場所はどこでしたか。 (調査員：「ご本人が亡くなった場所は」だとすねてもよいが、死亡場所と異なる場合があるので注意すること)</p> <p>1=ご本人の居宅やアパート内(敷地内なら物置、納屋なども含む) 2=(ご本人と別居の場合)ご家族の居宅やアパート内 3=職場 4=上記以外で家屋内(わかる範囲で記載) 5=自動車、列車など乗り物の中 6=屋外 7=その他(わかる範囲で記載) 9=場所不明</p>	<p>2. ご本人はどのような方法で亡くなったのでしょうか。 (調査員は、下から1つを選んで○つけ、その指示に従って次の質問に進む。複数該当する場合には複数○をつけてよいが、最も主要な手段であるものに◎をつけて、その指示に従って次の質問に進む。)</p> <p>1=首吊り…………… 2(1)へ進む 2=飛び降り(高所からの飛び降り)…………… 2(2)へ進む 3=入水(溺死及び溺水)…………… 2(3)へ進む 4=薬物(睡眠薬や農薬、アルコール、有機溶剤)…………… 2(4)へ進む 5=ガス…………… 2(5)へ進む 6=飛び込み(移動中の物体の前への飛び込み等)…………… 2(6)へ進む 7=自動車などでの衝突…………… 2(7)へ進む 8=拳銃、燐発物…………… 2(8)へ進む 9=焼身自殺…………… 質問8へ進む 10=鋭利な物体や鈍器…………… 2(10)へ進む 11=その他の方法(凍死、感電など)…………… 2(11)へ進む 99=手段不明…………… 2(12)へ進む</p> <p>(調査員：「農薬を飲んで、自動車を運転し自殺を図った」といったように複数の手段が報告された場合には、「自由な話し合い」の中で得られた情報をもとに、調査員の判断で、より本人が主要な自殺手段として選んだと考えられる手段を「主要な手段」とする。)</p>
--	---

<p>2(1). 首吊り (調査員：手段がわかれば記入。もし質問できるようなら「どんな方法で、首をつられましたか?」だとすねる。)</p> <p>1=ひも(家庭用荷造りひも等) 2=ネクタイ 3=シーツ 4=ベルト 5=なわ、ロープ(ナイロンロープ、農作業用ロープ等) 6=金属製ワイヤー等 7=その他() 9=不明</p>	<p>質問3へ進む。 2(2). 飛び降り(高所からの飛び降り。車面などへの飛び込んだ場合は「飛び込み」2(6)へ) 2(2)(a) 飛び降りを図られた時、ご本人は車などに乗っておいででしたか、それとも身一つでしたか。 1=身一つで 2=自動車など車面に乗って 3=その他(わかる範囲で記載) 9=不明 2(2)(b) ご本人が飛び降りられたのはどこからですか。 (調査員が回答に従い下記から1つを選ぶ) 1=建物 2=橋 3=山中(山頂や崖など) 4=海岸(断崖など) 5=その他() 9=不明</p>
<p>質問3へ進む。 2(3). 入水(溺死及び溺水) 2(3)(a) 入水を図られた時、ご本人は車などに乗っておいででしたか、それとも身一つでしたか。 1=身一つで 2=自動車など車面に乗って 3=その他(わかる範囲で記載) 9=不明 2(3)(b) 入水を図られた場所はどこでしたか。 (調査員が回答に従い下記から1つを選ぶ) 1=海 2=湖・池 3=河川 4=井戸 5=風呂 6=その他(わかる範囲で記載) 9=不明</p>	<p>質問3へ進む。 2(4). 薬物 2(4)(a) どのような薬物を服用されて亡くなられましたか。 (複数を使用した場合には、複数に○をつけてかまわない) 1=解熱・鎮痛剤等 2=向精神薬(種類がわかれば該当するものに○をつける) (2a. 睡眠薬、2b. 抗精神病薬、2c. 抗うつ剤、2d. 精神安定剤、2e. その他 []) 3=麻薬や覚醒剤 4=その他の神経系に作用する薬物 5=農薬、殺虫剤、除草剤等 6=アルコール 7=有機溶剤 8=その他の有害物質(わかる範囲で記載) 9=その他の種類不明 (次ページへ進む)</p>

<p>2(4)(b) ご本人は、その薬物をどこから入手されたのでしょうか。 1=医師から処方された 2=処方以外で本人が薬局で購入した 3=本人がインターネットで購入した 4=他の人から提供された 5=自宅にあった 6=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>質問3へ進む。</p>	<p>2(5). ガス ご本人は、どんな種類のガスを使われたのでしょうか。 1=自動車の排気ガス 2=家庭用のガス 3=工業用のガス 4=その他のガス(わかる範囲で記載: 9=詳細不明のガス</p> <p>質問3へ進む。</p>	<p>2(6) 飛び込み自殺(移動中の物体の前への飛び込み、又は横たわって移動中の物体の下敷きになる等) 何に対して、飛び込みを図られたのでしょうか。 1=自動車(乗用車、トラックなど) 2=二輪車(オートバイなど) 3=列車・電車 4=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>質問3へ進む。</p> <p>2(7). 自動車などでの衝突 2(7)(a) 自動車同士の衝突ですか、あるいは自動車で別の何かに衝突されたのでしょうか。 1=自動車同士の衝突 2=自動車での物体(壁、電柱など)に衝突 3=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>2(7)(b) ご本人は何に乗っておいででしたか。 1=自動車(乗用車、トラックなど) 2=オートバイ 3=自転車 4=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>質問3へ進む。</p>
--	--	--

<p>2(8). 拳銃、爆発物 2(8)(a) ご本人はどんな種類の銃器(または爆発物)をお使いになりましたか。 1=拳銃 2=ライフル、散弾銃及び大型の銃器 3=その他の銃器(わかる範囲で記載: 4=市販の火薬や爆竹、花火類 5=その他の爆発物 6=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>2(8)(b) ご本人は、その銃器(または爆発物)をどこから入手されたのでしょうか。 1=他の人から提供された 2=自宅にあった 3=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>質問3へ進む。</p>	<p>2(10). 鋭利な物体や鈍器 ご本人は包丁などの刃物を使われたのでしょうか、それとも別の何かを使われたのでしょうか。 1=包丁などの刃物 2=その他の鋭利な物体(わかる範囲で記載: 3=鈍器 4=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>質問3へ進む。</p>	<p>2(11). その他の手段 ご本人はどのような方法で亡くなられましたか。 1=凍死自殺 2=感電自殺 3=その他(わかる範囲で記載: 9=不明</p> <p>質問3へ進む。</p> <p>2(12). 詳細不明の手段 (調査員)ご本人の亡くなられた経過についてわかる範囲のことを簡単に記載すること。 [] 質問3へ進む。</p>
--	---	--

自殺を図った時間帯とその後経過について
(調査員:質問3から6では、自殺発生後の時間経過について聞き取ることを意図している。しかしこの部分の質問は、しばしば回答者につらい気持ちを想起させ、負担を与えるので、十分注意する。できるだけ「自由な話し合い」で得られた情報だけで、新しい質問をせずに記入するよう工夫する。情報が十分でない場合でも、回答者が自分から話されない場合には「不明」とし、7へ進む)

3. ご本人が自殺を図られたのは、1日のうち何時頃でしたか?
[時刻表のように(0~24時)で記入。不明な場合には99時と記入]

— 時頃

10. ご本人が亡くなる前1カ月間に、ご本人は自殺に関する報道を見聞きしたり、あるいは本や小説を読んだと、あなたや周囲の人に話したことがありますか？
(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

調査員：なければ質問11に進む。ある場合は以下の質問を行う。

10(a) ご本人はどこでこの報道にふれられたり、本や小説のこの見聞をしたのですか？
(調査員：回答者の答えを聞いて、調査員が適切なものを選び、複数に○をつけてもよい)

1=テレビ 3=新聞 5=小説 8=その他 ()
2=映画 4=雑誌 6=複数のルート 9=不明

10(b) その報道、または本や小説ではどのような方法の自殺が扱われていましたか？
(調査員：回答者の答えを聞いて、調査員が適切なものを選び、複数に○をつけてもよい)

00=具体的な自殺の方法についてのものではない
11=首吊り 14=薬物 17=自動車などでの衝突 20=鋭利な物体や鈍器
12=飛び降り 15=ガス 18=拳銃、爆発物 21=その他の方法
13=入水 16=飛び込み 19=焼身自殺 22=自殺方法のマニュアル
99=手段不明

11. これまでに、ご本人は自殺未遂をしたことがありますか？
(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

調査員：なければ質問12に進む。ある場合は以下の質問を行う。

11(a) これまでに何回ありましたか？ _____ 回
(調査員：不明な場合には99と記入する。1回だけなら、11(c)へ進む)

11(b) ご存じの範囲で、最初にあったのはご本人が何歳の時ですか？ _____ 歳

11(c) 一番最近にあったのは、いつですか？
1=亡くなる前1ヶ月未満 2=1ヶ月以上、6ヶ月未満
3=6ヶ月以上、1年未満 4=亡くなる1年以上前

11(d) 上記が「4=1年以上前」なら、何歳の時ですか？ _____ 歳

11(e) (一番最近にあった時)どんな方法で自殺未遂をされましたか？
1=首吊り 4=薬物 7=自動車などでの衝突 10=鋭利な物体や鈍器
2=飛び降り 5=ガス 8=拳銃、爆発物 11=その他の方法 ()
3=入水 6=飛び込み 9=焼身自殺 99=手段不明

11(f) (一番最近にあった時)命の危険性はどの程度あったでしょう？
(0=なし ; 1=軽度 ; 2=重度 ; 9=不明)

11(g) (一番最近にあった時)医療を受けたり、入院したりしましたか？
(0=なし ; 1=入院 ; 2=通院 ; 8=その他 () ; 9=不明)

12. 亡くなる前1年間には、ご本人は自殺や自殺未遂以外で、事故を経験したことがありますか？ 例えば、交通事故、仕事上の事故や通勤、通学時の事故、家庭内での事故などで、ご本人がけがをして治療する必要があるような経験です。
調査員：なければ質問13に進む。ある場合は以下の質問を行う。

12(a) 亡くなる前1年間には、何回ありましたか？ _____ 回
(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

13. 少し立ち入った質問になりますが、ご本人のご家族・親戚や友人・知人の方で、自殺未遂や自殺をされた方がおいてになりますか？
(0=いいえ、1=はい、9=不明)

自殺未遂や自殺を経験した者がいれば、下の記入方法に従って表に記入し、いなければ空白にする。

ご本人との関係	性別 ②	一番最近の自殺または自殺未遂の状況				結果 ⑦ 0=自殺未遂 1=既遂	ご本人が知っていた ⑧ 0=いいえ 1=はい 9=不明
		③時期 本人が亡くなる前 1=1ヶ月未満 2=6ヶ月未満 3=1年未満 4=1年以上前 9=不明	手段 ④	生命の危険性 ⑤	治療方法 ⑥		
例： 父親	x x	x	x x	x	x	x	

表の記入方法

①ご本人との関係：「それはご本人とどんな関係の方ですか。」とたずねる。
ご本人との関係の番号を表に記入する。

- 10=父親 15=妹 20=配偶者の父母 25=上司・先輩 30=警察
- 11=母親 16=息子 21=その他の親族 26=部下・後輩 31=メールやネット上の知り合い
- 12=兄 17=娘 22=恋人 27=教師 32=その他 ()
- 13=姉 18=配偶者 23=友人 28=隣人
- 14=弟 19=祖父母 24=同僚・同級生 29=医療従事者

② 性別：1=男 2=女(わかっている場合には質問せずに記入する)

③ 時期：この自殺または自殺未遂があったのはいつかたずねる。本人が亡くなる前の前にあたるかを、次の番号で記録する。1=1ヶ月未満、2=(1ヶ月以上)6ヶ月未満、3=(6ヶ月以上)1年未満、4=1年以上前、9=不明。

④ 手段：「どんな手段で自殺を図られたのですか」とたずねる。手段の番号を表に記入する。

- 1=首吊り 4=薬物 7=自動車などでの衝突 10=鋭利な物体や鈍器
- 2=飛び降り 5=ガス 8=拳銃、爆発物 11=その他の方法
- 3=入水 6=飛び込み 9=焼身自殺 99=手段不明

⑤ 危険程度：0=なし 1=軽度 2=重度 9=不明

⑥ 治療方法：0=なし 1=入院 2=通院 8=その他 () 9=不明

⑦ 結果：0=自殺未遂 1=既遂

⑧ 「ご本人が知っていた」：「ご本人は、この人が自殺や自殺未遂をしたことを知っていましたか」とたずね、回答を記録する。コードは、0=いいえ 1=はい 9=不明。

Ⅵ 生活歴

ここからは、少しさかのぼって、ご本人の子供時代からこれまでの生活の様子についてうかがいます。

まずご本人の子供時代のご経験からです。

1(a). ご本人が15歳(中学校)以前に、ご両親のどちらかと死別したり、離婚を経験したりしたことがありますか。
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

1(b). 15歳(中学校)以前に、学校でいじめや暴力にあうなどの出来事がありましたか。
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

1(c). 15歳(中学校)以前に、ご両親のどちらから暴力をふるわれたり、ひどく無視されたりした経験がありますか。
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

2(a). (情報がすでにある場合には質問せずに記入する) ご本人は結婚されたことがありますか。
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

上記の質問の答えが「はい」であれば次の質問を行う。

2(b). ご本人が結婚されたのは何歳のときですか？(複数回あれば最後のときの年齢を記入)
 _____ 歳

3(a). ご本人は離婚した経験がありますか？
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

上記の質問の答えが「はい」であれば次の質問を行う。

3(b). ご本人が離婚されたのは何歳のときですか？(複数回あれば最後のときの年齢を記入)
 _____ 歳

Ⅶ 仕事の状況

つづいて、ご本人のお仕事についてうかがいます。

1(a) ご本人がお亡くなりになる直前は、仕事をお持ちでしたか。あるいは職を探しておいでだったり、退職されたり、病気や障害のために無職でしたか。あるいは学生または主婦(主夫)でしたか。(あてはまるものすべてに○)

1=仕事を持っていた
 2=学生をしていた
 3=家事をしていた(主婦/主夫)
 4=職を探していた
 5=退職後で無職だった
 6=病気や障害のために無職だった
 9=その他()

「仕事を持っていた」に○がついていれば、質問2(a)へ進む。それ以外は1(b)を質問する。

1(b) ご本人はフルタイムのお仕事に就かれたことがありますか？
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

「いいえ」「不明」であれば、「Ⅷ 生活出来事」に進む。「はい」であれば以下を質問する。

2(a) ご本人がお亡くなった時には、健康上の理由で1ヶ月以上お仕事を休まれていましたか？
 (健康上以外の理由で1ヶ月以上仕事を休んでいた場合は、「いいえ」とする)
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

調査員：「いいえ」「不明」であれば 3 に進み、「はい」であれば、2(b)の質問を行う。

2(b) 何年何月からお休みしていましたか？
 _____年____月

3 一番最近にされていたお仕事は、何年何月から(何年何月まで)されてきましたか？
 (上記1(a)で死亡時に「仕事を持っていた」と回答した場合には、(何年何月まで)は質問せずに、死亡年月を記入する)

4(a) どのような業種、あるいはどんなな会社で働いておいででしたか？
 (回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選んで○をつける)

10=農業	11=林業	12=漁業
13=鉱業	14=建設業	15=製造業
16=電気・ガス・熱供給・水道業	17=運輸・通信業	18=卸売・小売業、飲食店
19=金融・保険業	20=不動産業	21=サービス業
22=公務(他に分類されないもの)	88=その他()	99=不明

4(b) ここでは具体的にどのようなお仕事をされていますか？
(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選んで○をつける)

10=専門的・技術的職業従事者 11=管理的職業従事者 12=事務従事者
 13=販売従事者 14=サービス職業従事者 15=保安職業従事者
 16=農林漁業従事者 17=運輸・通信従事者 18=生産工程・労務作業従事者
 88=その他() 99=不明

4(c) フルタイムの勤務でしたか？パートタイムでしたか？または自営業でしたか？
(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選んで○をつける)

1=常勤(フルタイム) 2=非常勤(パート・アルバイト) 3=自営業
 4=その他() 9=不明

4(d) 働いていた工場や事務所には何人くらいの労働者がいましたか？

1=9人以下 2=10~49人 3=50~99人 4=100~499人
 5=500~999人 6=1,000人以上 9=不明

4(e) 交代勤務や夜勤がありましたか？

1=日勤のみ 2=夜勤のみ 3=交代勤務(夜勤あり) 4=交代勤務(夜勤なし)
 8=その他() 9=不明

調査員へ以下は、仕事をしていた最後の6ヶ月の期間について質問する。質問の文中で、本人が死亡直前まで仕事していた場合には「ご本人が亡くなる前の6ヶ月間」を使う。本人が死亡より以前に仕事を退職したり、休職している場合には「お仕事をされていた最後の6ヶ月間」を使う。

上記質問3で、死亡前1年間は仕事をしていないと回答した場合には次のセクションに進む。

5(a) ご本人が亡くなる前の6ヶ月間(お仕事をされていた最後の6ヶ月間)、平均すると1ヶ月あたり何日間、働いていましたか？ (わからない場合は99日と記入)

___ 日 ___ 分

5(b) ご本人が亡くなる前の6ヶ月間(お仕事をされていた最後の6ヶ月間)、平均すると1日あたりどのくらい働いていましたか？ (自宅を出た時間、帰宅時間がわかれば、これを参考に調査員が計算してもよい。なお、通勤時間は含まれない。わからない場合は99時間99分と記入)

___ 時間 ___ 分

5(c) そのうち、残業時間はどのくらいでしたか？ (通常のフルタイムでは1日7.5~8時間、週40時間が正規の労働時間であるので、これを参考に調査員が計算してもよい。わからない、または管理職などで残業という制度がない場合は、99時間99分と記入)

___ 時間 ___ 分

質問4(e)が「2=夜勤のみ」、「3=交代勤務(夜勤あり)」であれば、以下の質問を行う。

5(d) ご本人が亡くなる前の6ヶ月間(お仕事をされていた最後の6ヶ月間)、平均すると1ヶ月あたり何日間、夜勤をされていましたか？(わからない場合は99日と記入)

___ 日

6(a) だんはんは何時ごろ自宅を出て、何時ごろ帰宅していましたか？
(わからない、不規則で決められない、などの場合には、99時99分と記入)

出勤 ___ 時 ___ 分
 帰宅 ___ 時 ___ 分

6(b) 通勤にはどんな交通手段を使っていましたか？

00=通勤なし 10=電車 11=バス 12=自動車(本人が運転) 13=自動車(本人以外が運転)
 14=バイク 15=自転車 16=船舶 17=徒歩 88=その他() 99=不明

6(c) 片道の通勤時間はどのくらいでしたか？
(わからない場合は99時間99分と記入)
(通勤なしの場合は00時間00分と記入)

___ 時間 ___ 分

7(a) ご本人が亡くなる前の6ヶ月間(お仕事をされていた最後の6ヶ月間)に、勤務日でない日に仕事に行くことがありましたか？

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

「いいえ」「不明」であれば 8 に進み、「はい」であれば、以下の質問を行う。

7(b) 勤務日でない日に出勤されることは、平均すると1ヶ月あたり何日ありましたか？
(わからない場合は99日と記入)

___ 日

7(c) 勤務日でない日に出勤した日は、平均すると1日あたりどのくらい働いていましたか？
(わからない場合は99時間99分と記入)

___ 時間 ___ 分

8 仕事をもち帰って、帰宅後や休日に家で仕事をすることがありましたか？
(0=なし ; 1=たまに ; 2=いつも ; 9=不明)

9 急な呼び出しのために、事業場から携帯電話やポケベルなどを持たされていましたか？
(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

10(a) 平均すると1ヶ月あたり何回出張していましたか？
(出張のない場合は、次のセクションへ。わからない場合は99回と記入)

___ 回

10(b) 平均すると1ヶ月あたり何日間出張してましたか？
(わからない場合は99日と記入)

___ 日

10(c) 国内、海外、どちらへの出張が多かったですか？
(1=国内 2=海外(時差なし) 3=海外(時差あり) 9=不明)